

厚木基地に関する要望に国が回答

図基地対策課
☎70・5604

市と市議会は7月16日、防衛省や外務省など政府関係機関に基地問題の要望書を提出しました。その要望に対し、南関東防衛局長から次のとおり回答がありました(抜粋・要約。全文は基地対策課、各地区センター、寺尾いずみ会館、南部ふれあい会館・市ホームページで閲覧可)。

1 厚木基地の整理・縮小・返還

【回答】現在、空母艦載機の移駐後の厚木飛行場の使用について日米間で協議を行っているところであり、同飛行場の使用実態を踏まえ、要望の実現に向けて、検討していく。

2 在日米軍再編協議の最終合意事項の早期・着実な実現

【回答】空母艦載機の岩国飛行場への移駐は、現在、格納庫、駐機場、家族住宅、独身宿舎などの整備を行っている。空母艦載機の移駐時期は、29年頃になる見込みであるが、今後も地元の理解を得ながら、可能な限り早期に、かつ、着実に進めるための努力をしていく。

3 騒音対策

①空母艦載機着陸訓練

【回答】24年5月の厚木飛行場における空母艦載機着陸訓練では、周辺住民の方々に多大な迷惑をお掛けしたと十分認識している。他方、着陸訓練は、空母艦載機のパイロットの練度の維持を図り、即応性を確保するとの観点から必要な訓練であると考えている。空母艦載機の騒音は、周辺住民の方々にとって深刻な問題であると認識しており、今後、米軍に対し、着陸訓練については、できる限り硫黄島で実施するように求めていく。

②深夜の飛行禁止、訓練情報の公開

【回答】厚木飛行場に係る騒音規制措置は、「22時〜翌朝6時の間、厚木海軍飛行場における全ての活動は、運用上の必要な場合と合衆国軍の態勢を保持する上で緊要とみられる場合を除き、禁止される」旨合意されており、米軍は、同規制措置に基づき、飛行を実施しているものと認識している。累次の機会に、同騒音規制措置の遵守はもとより、更なる航空機騒音の軽減や休日・年末年始・入学試験など、年間行事に配慮するよう米軍に申し入れを行ってきっており、今後も、周辺住民の方々に対する騒音の影響を最小限とするよう配慮を求めていく。また、米軍の飛行に関する情報については、運用に係る事項であり、入手が難しいが、可能な限り提供に努めていく。

③ヘリコプター騒音

【回答】米軍からは、飛行場の上空のみで旋回などを行うことは、その他の航空機の運航との関係から、安

全上の問題があるとの説明を受けているが、機会あるごとにヘリの運用に係る周辺住民への影響を可能な限り軽減できるよう米軍に申し入れていく。

4 市民の安全対策

①部品落下事故

【回答】昨年12月のヘリコプターの不時着、今年1月の艦載機の部品落下事故が発生したことは極めて遺憾であり、米軍に対し早期の原因究明、再発防止と安全管理の徹底を強く申し入れたところである。両事故については、米軍から調査報告が提供され、速やかに情報提供したところであるが、引き続き米軍に対し航空機の運用に際し、地域住民の方々の安全に配慮するよう働きかけたい。

②蓼川下流域の浸水被害防止

【回答】浸水被害防止に係る治水対策は、厚木飛行場の雨水排水施設整備の一環として調整池により対応することとしている。市の強い要望を踏まえ、今年度内に工事に係る契約を締結し、その後速やかに工事に着手できるよう鋭意努力していく。

5 住宅防音工事

建築年次にかかわらず、全住宅を対象とした防音工事

【回答】住宅防音工事については、対象区域の指定の際に所在する住宅を対象に実施している。対象となる住宅の取り扱いについては、住宅防音事業の今後のあり方に関わる課題であり、全国の現在の住宅防音工事対象区域の騒音状況や

進捗状況などを踏まえつつ、今後検討していきたいと考えている。

6 移転跡地の適正な維持管理

【回答】移転跡地については、雑草繁茂を防ぐため、除草工事などを行うとともに、ごみの不法投棄などを防止するため、巡回やフェンスなどの設置を行い、適正な維持管理に努めている。なお、市の要請を受け、昨年度、移転跡地の一部に試験的に防草シートを設置しており、今年度においても引き続き設置する予定である。移転跡地の無償使用許可については、行政財産としての用途や目的を妨げない範囲において、地元の利用に配慮した利活用を努めていく。

市社会福祉表彰式 33人16団体に表彰・感謝状

9月28日、市社会福祉表彰式を開催し、社会福祉活動での功績が顕著な方や、寄付をした方の栄誉をたたえました(順不同・敬称略)。

■市社会福祉協議会
13、市社会福祉協議会
77・8166。

■市長表彰
▽高島メ子(深谷上)▽加藤裕子(海老名市)▽柳川千代子(上土棚市)▽深川美津代(吉岡)▽武富則広(相模原市)▽成毛真希子(座間市)▽鈴木令子(落合南)▽市身体障害者福祉協会

■市社会福祉協議会長表彰・感謝
▽表彰▽橋口節子(寺尾北)▽望月宏治(吉岡)▽安藤昌信(上土棚中)▽松本勝(寺尾北)▽井下澄江(小園南)▽伊藤良夫(早川)▽小林チカエ(早川)▽露木恵子(綾西)▽松本三佐子(早川城山)▽宮代シゲ(海老名市)▽あやせ災害ボランティアネットワーク▽人形劇サークルさくらんぼ▽寺尾綾北地区社会福祉協議会▽上土棚地区社会福祉協議会▽椎名浩(寺尾中)▽油科智



▲AYO綾瀬公演の様子

AYO綾瀬公演を成功させる会
岡内村
☎77・7129



きらめき
市民活動
まちかど特派員
レポート 長谷川智恵

尾北)▽望月宏治(吉岡)▽安藤昌信(上土棚中)▽松本勝(寺尾北)▽井下澄江(小園南)▽伊藤良夫(早川)▽小林チカエ(早川)▽露木恵子(綾西)▽松本三佐子(早川城山)▽宮代シゲ(海老名市)▽あやせ災害ボランティアネットワーク▽人形劇サークルさくらんぼ▽寺尾綾北地区社会福祉協議会▽上土棚地区社会福祉協議会▽椎名浩(寺尾中)▽油科智

8月28日、アジアユースオーケストラ(AYO)綾瀬公演が文化会館で開催され、およそ1100人の観客がアジア各国の若手演奏家110人からなる楽団の演奏に魅了されました。この公演をサポートし、楽団員のホームステイ先の手配やチケット販売、公演当日の運営補助などを行ったのが、2月に結成されたAYO綾瀬公演を成功させる会です。有志の市民およそ70人が会に参加し、準備を進めました。綾瀬公演は今年で3回目ですが、市民中心の組織をつくったのは今回が初。同会会長の内村由生子さんは「市民活動センターあやせの協力で、音楽とは異なる分野で活動される多くの方に参加していただくことができました。積極的な意見交換があり、本当に綾瀬公演を成功させる会になりました」と振り返ります。ホームステイを含めて公演を受け入れる都市は、世界中を見てもごくわずか。

綾瀬はAYOにとって欠かせない存在になっています。「3回の公演で300人以上の音楽家が、ホームステイを通じて綾瀬に親しみを持ってくれました。ホストファミリーを引き受けてくれた家庭には、本当に感謝しています。この関係が続けることで、少しでも世の中が平和になるといいですね」と内村さんは言います。同会は、今後公演開催の依頼があればサポートする予定で、音楽や国際交流の魅力を伝える活動を継続していきたいそうです。綾瀬出身の音楽家がAYOの舞台に立つ、そんな日が来るかもしれません。



▲交流会の様子